



まだ数は少ないですが、早くもセミの鳴き声が聞かれるようになりました。あと10日で夏休みです。

高花っ子の体力は

5年生の新体力テストが終わりました。種目は、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」です。みんな一生懸命取り組んでいました。今年の集計はこれからですが、昨年度の結果によると、男子は8種目のうち「握力」「上体起こし」「ソフトボール投げ」の3種目で全国平均を上回り、「50m走」が同水準、他の4種目で全国平均を下回りました。「立ち幅とび」で10センチ以上上下回っているのがやや気になりますが、まずまずの体力状況と言っていでしょう。女子は、「握力」は全国平均を上回りましたが、他の7種目で全国平均を下回りました。女子の体力向上が課題です。



ただ、そもそも日本全体で、子どもの体力は、ピーク時である昭和60年頃と比べて低い状況になっているのですから、男子が全国平均並みだからといって満足はできません。女子に至ってはさらに深刻です。高学年では、休み時間に外で遊ぶ子が少ないように感じています。休み時間に「学級遊び」に取り組んでいる学級もありますが、そのような工夫をするなどして、運動の機会を増やすことが大切だと思われます。

3年生が万古焼体験



7月4日(火) 万古焼の窯元の職人さん3名に来ていただいて、3年生が万古焼を体験しました。作ったのはランプシェード。職人さんの指導を受けながら、思い思いの透かしの模様を入れた作品を仕上げました。蒸し暑い図工室でしたが、子どもたちは「暑い」とも言わずに、集中して一生懸命に作っていました。製茶や万古焼など四日市の地場産業について学ぶ子どもたちにとって、実際に万古焼に触れ、自ら作る経験をする事は、学びをさらに深めることにな

ります。この日作った作品は、9月上旬に「ばんこの里会館」に展示される予定です。焼き上がりが楽しみです。

たった1枚の写真から・・・

「たった1枚の写真から、わずか1～2時間で、どこのだれかまで分かってしまう。」インターネット上に写真や動画を投稿した場合の危険性です。7月7日(金)、PTA・学校共催の「子どもの未来を語る会」で「ケータイ・スマートフォンの正しい利用の仕方」について四日市市役所青少年育成室の職員の方に講演をいただきました。保護者30名、教職員20名が参加しました。ネット依存やSNS上のトラブル(言葉の行き違いによるいじめなど)、見知らぬ人との出会いなど様々な危険性が指摘され、そのような危険から子どもたちを守るためには、フィルタリングや家庭でのルール作りが大切であることなどが話されました。